

2017.7.20
日韓共同研究会

黄金の國、
いわて。

岩手県統一イメージコピー

人口減少に対応した観光振興 及び地域資源開発

岩手県観光PRキャラクター
わんこきょうだい



岩手県 企画理事

岩 間 隆

復興支援への感謝

《復興の目指す姿》

いのちを守り 海と大地と共に生きる
ふるさと岩手・三陸の創造

「安全」の確保

「暮らし」の再建

「なりわい」の再生

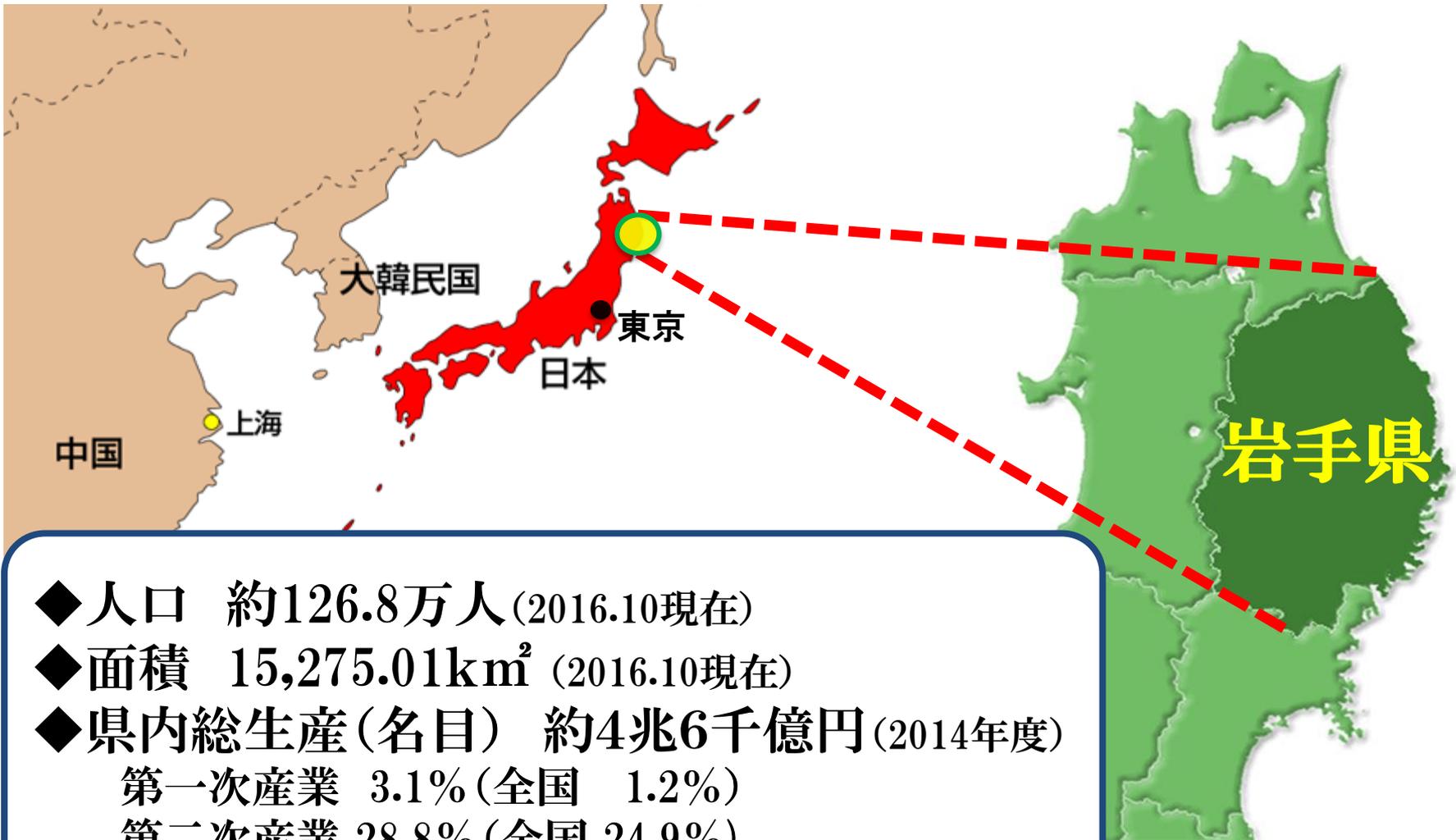
災害公営住宅の整備



水産業の再生



岩手県の概要



- ◆人口 約126.8万人(2016.10現在)
- ◆面積 15,275.01km² (2016.10現在)
- ◆県内総生産(名目) 約4兆6千億円(2014年度)
 - 第一次産業 3.1%(全国 1.2%)
 - 第二次産業 28.8%(全国 24.9%)
 - 第三次産業 68.1%(全国 74.0%)

大韓民国と岩手県とのつながり

北東北3県・北海道ソウル事務所

- ◆2002年11月に設置
- ◆貿易経済交流の拡大支援
- ◆誘客宣伝などの観光関連業務

学術交流

- ◆岩手大学と明知大学校
- ◆岩手県立大学と慶尚大学校、又松大学校

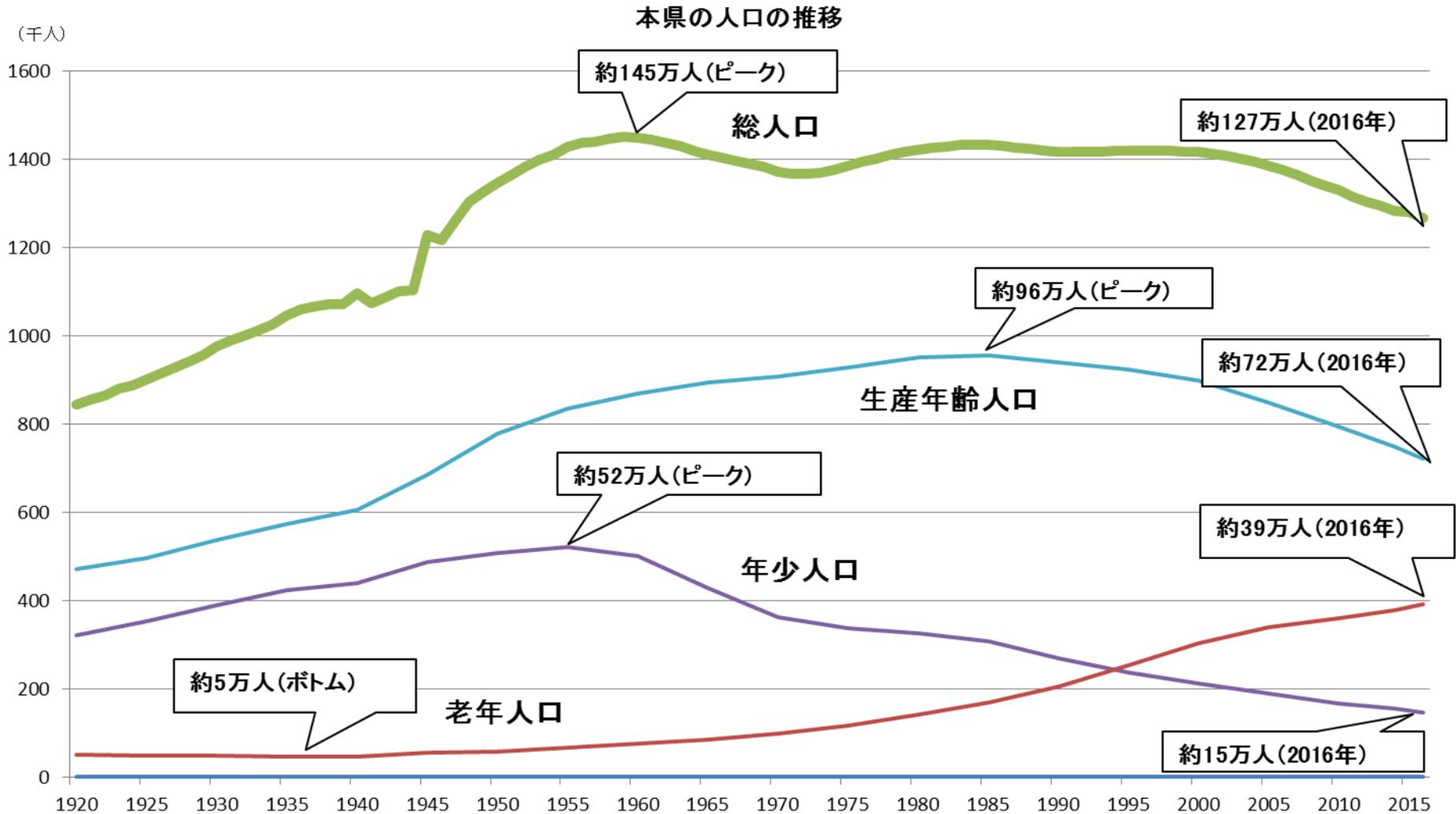
若者のスポーツ交流

- ◆2011年「日韓青少年夏季スポーツ交流事業選手団」来県
- ◆2014年「日韓中ジュニア交流協議会岩手大会バスケットボール競技」を一関市で開催
- ◆2015年氷上競技(スケート、アイスホッケー、カーリング)で中学生の相互派遣

盛岡冷麺



岩手県の人口の推移



資料: 総務省統計局「国勢調査」「人口推計」

人口減少に伴う課題

1 地域経済への影響

生産年齢人口の減少により、**労働力不足**と**生産量（生産高）の低下**が懸念される。

2 地域医療、福祉・介護への影響

後期高齢者の増加により**医療、福祉等の需要増加**が見込まれる一方、**人材の流出**も懸念される。

3 教育・地域文化への影響

児童・生徒の減少により、学校教育や地域の**文化継承への影響**が懸念される。

4 地域公共交通への影響

利用者の減少に伴う経営上の影響が見込まれる一方、高齢者の増加により**必要性が高まる**と見込まれる。

5 地域コミュニティへの影響

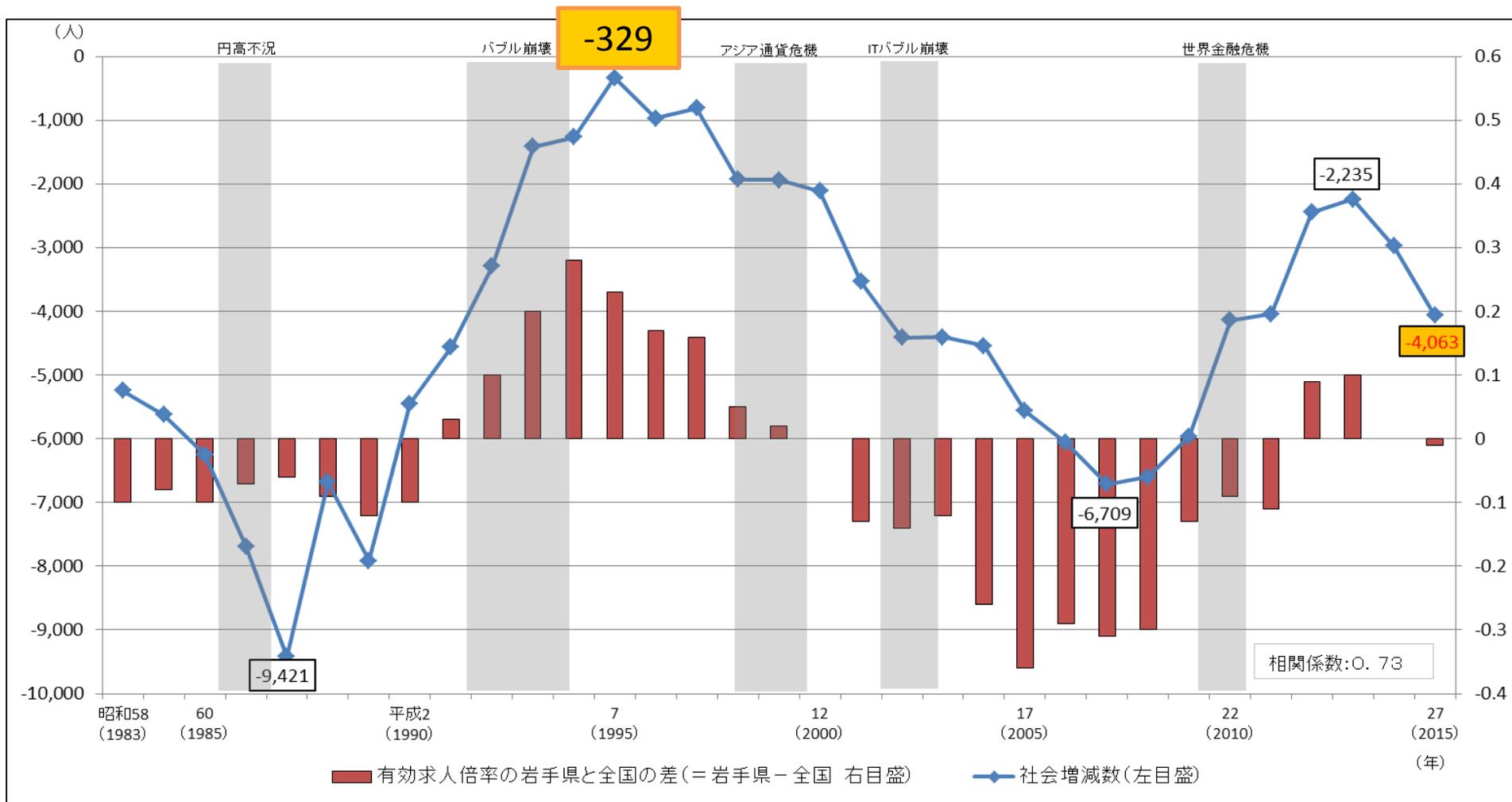
過疎と高齢化の進行により、**共助機能の低下**が懸念され、補完の必要性が高まる。

6 県・市町村の行財政への影響

経済規模が縮小した場合、**税収減と財政の硬直化**が懸念される。

人口減少問題の本質

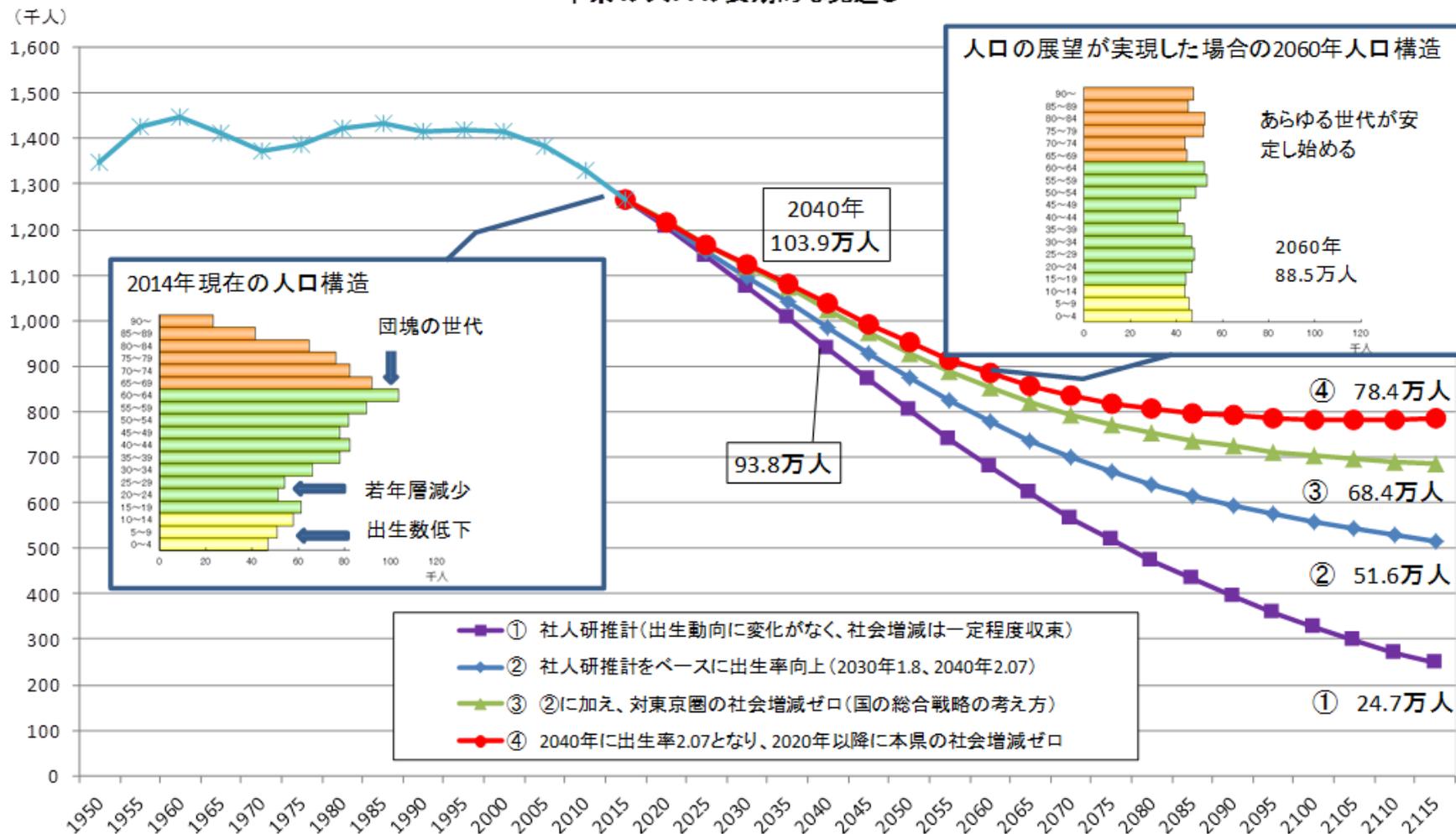
過去30年間の岩手県の社会増減数と有効求人倍率全国差の推移



岩手県人口ビジョン(2015.10策定)

地方が主役になる日本を岩手から

本県の人口の長期的な見通し



岩手県ふるさと振興総合戦略(2015.10策定)

ふるさと振興の3つの柱

岩手で働く

やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を創出し、岩手への新たな人の流れの創出を目指します。

岩手で育てる

社会全体で子育てを支援し、出生率の向上を目指します。

岩手で暮らす

医療・福祉や文化、教育など豊かなふるさとを支える基盤の強化を進め、地域の魅力向上を目指します。

総合戦略の展開(観光振興関係)

商工業・観光産業振興、仕事創出プロジェクト

国内外との交流人口及び経済交流の拡大

観光産業の振興

- ・世界遺産を複数有する優位性の活用
- ・食や物産などを組み合わせた岩手のまるごと売り込み
- ・地域の多様な取組を総合的にマネジメントするDMOの整備
- ・受入態勢の整備の促進

いわて国際戦略ビジョン(2017.3策定)

地方の得意分野が世界に直結できる契機
岩手ブランドの発信、互恵的・多面的な交流の推進

■ 海外市場への展開

岩手ブランドの創出と
県産品全体の販路開拓



■ 外国人観光客の誘致拡大

市場のニーズに応じた
プロモーション



■ 人材ネットワークの強化

世界と岩手をつなぐ
ネットワーク構築



観光交流人口増大の経済効果

○定住人口1人当たりの年間消費額(125万円)は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者8人分、国内旅行者(宿泊)25人分、国内旅行者(日帰り)80人分に当たる。

定住人口=1億2,711万人
1人当たり年間消費額=125万円

旅行消費額

訪日外国人旅行3.5兆円

国内旅行(海外分除く)20.4兆円

うち宿泊旅行 15.8兆円
うち日帰り旅行 4.6兆円

訪日外国人旅行者

1,974万人

国内旅行者(宿泊+日帰り)

6億0,472万人 <延べ人数>

うち宿泊 3億2,199万人
うち日帰り 2億9,173万人

1人1回当たり消費額
17万6,167円

1人1回当たり消費額
宿泊 5万0,520円
日帰り 1万5,758円

+

減少

定住人口1人減少分

拡大

外国人旅行者8人分

又は

国内旅行者(宿泊)25人分

又は

国内旅行者(日帰り)80人分

定住人口は2015年国勢調査 人口速報集計結果(総務省)、定住人口1人当たり年間消費額は2015年家計調査(総務省)による。
旅行消費額の訪日外国人旅行は訪日外国人消費動向調査(2015年)より算出、国内旅行は旅行・観光消費動向調査(2015年)より算出。

訪日外国人旅行者はJNTO(2015年)発表数値、国内旅行者は旅行・観光消費動向調査(2015年)より算出。

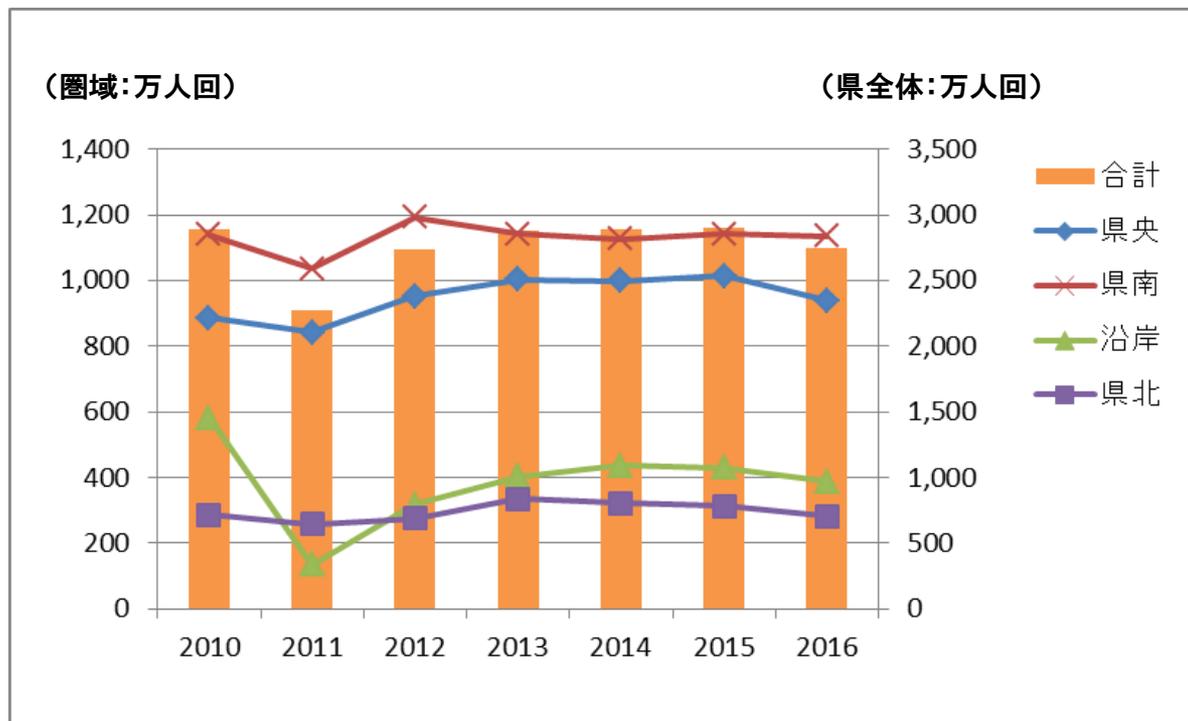
訪日外国人旅行者1人1回当たり消費額は訪日外国人消費動向調査(2015年)、国内旅行者(宿泊/日帰り)1人1回当たり消費額は旅行・観光消費動向調査(2015年)より算出。

定住人口1人減少分に相当する旅行者人数は、定住人口1人当たり年間消費額を訪日外国人旅行者又は国内旅行者1人1回当たり消費額で除したものである。(※観光庁資料)

岩手県の観光の現状【全体】



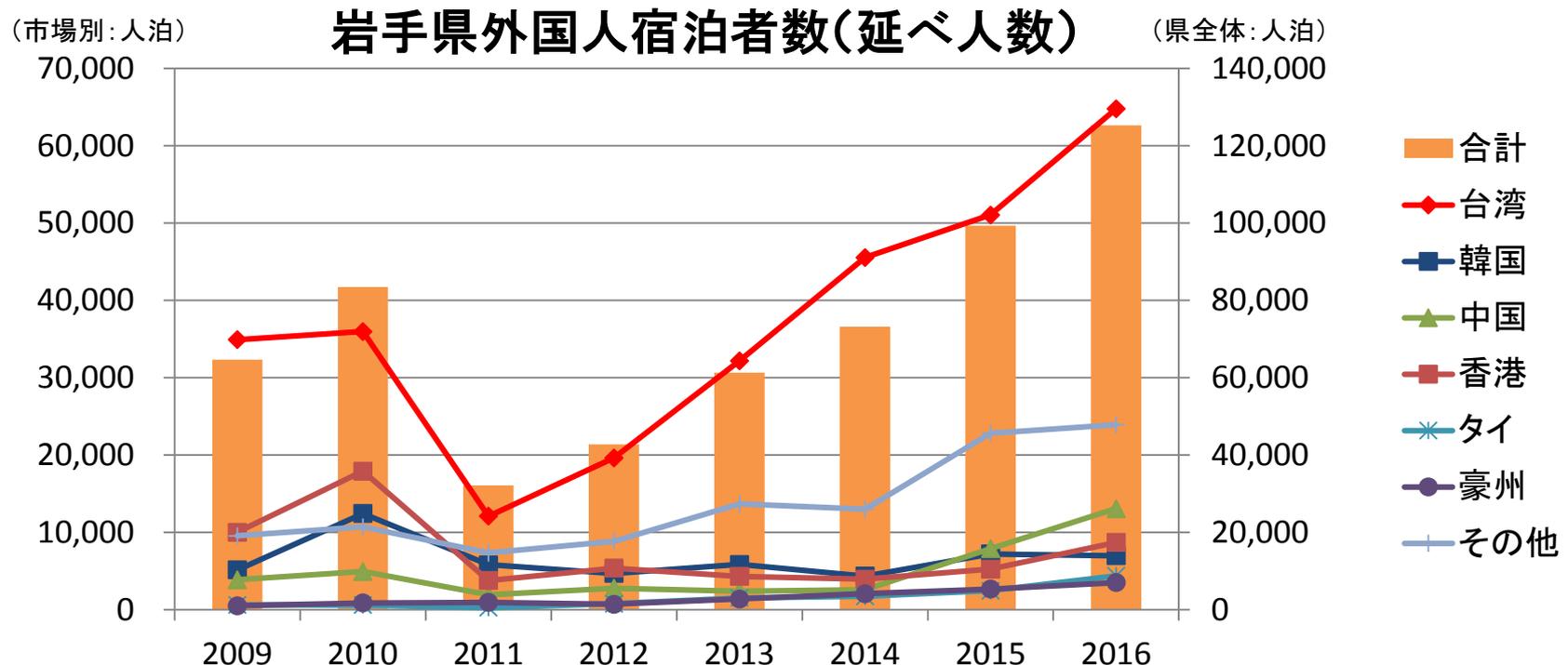
岩手県(全体・圏域別)の観光入込客数(延べ人数)



区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016/2010
県央	887	843	953	1,002	1,000	1,015	940	105.9%
県南	1,139	1,035	1,193	1,143	1,127	1,142	1,136	99.7%
沿岸	582	134	318	403	438	429	388	66.6%
県北	287	258	276	336	321	313	282	98.5%
合計	2,896	2,271	2,740	2,884	2,886	2,899	2,745	94.8%

(年度、延べ万人回)

岩手県の観光の現状【国際】

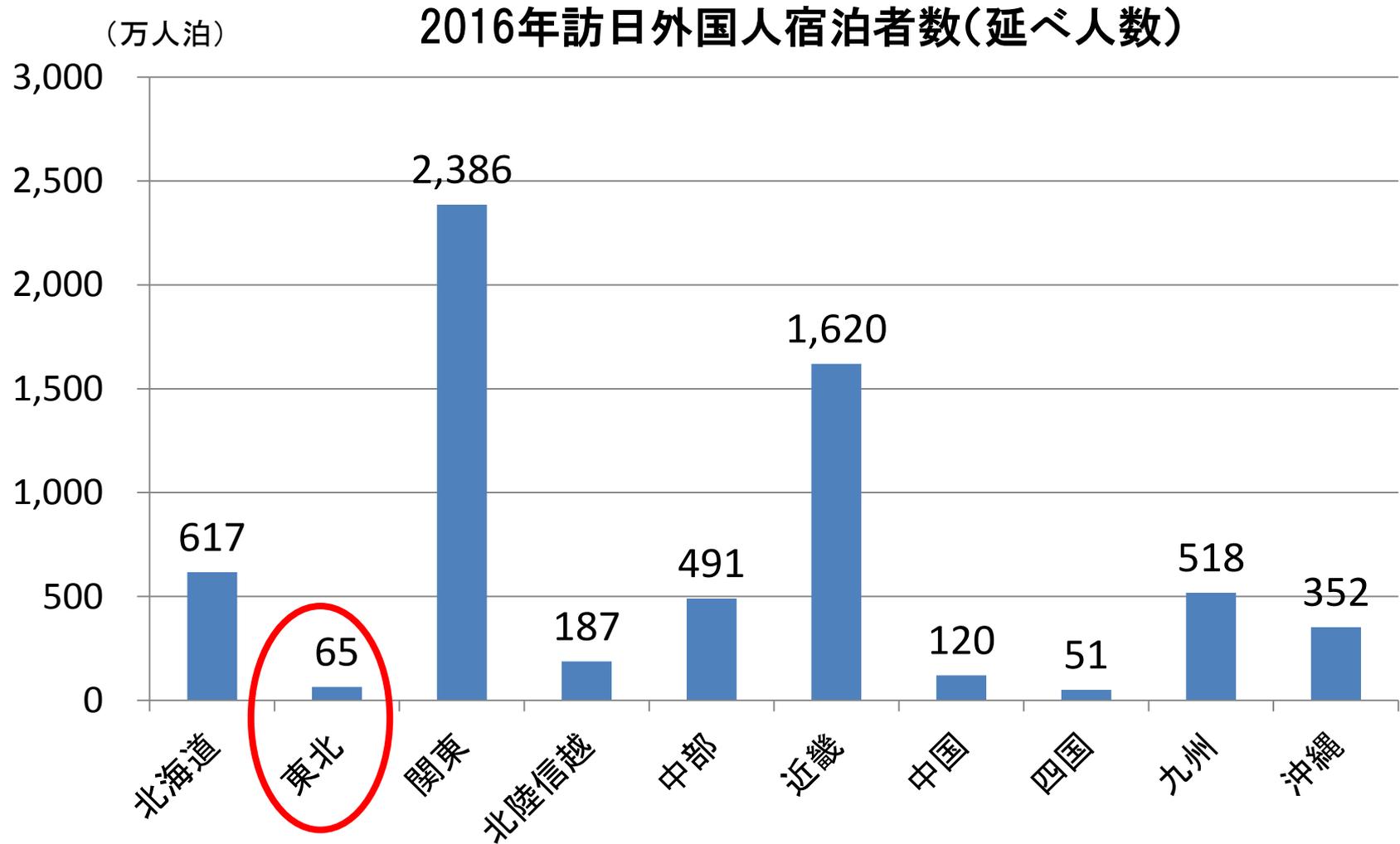


(単位:人泊)

	台湾	韓国	中国	香港	タイ	豪州	その他	合計
2009	34,920	5,150	3,870	10,020	620	510	9,550	64,640
2010	35,970	12,440	4,940	17,920	600	870	10,700	83,440
2011	12,090	5,820	1,920	3,770	260	940	7,340	32,140
2012	19,640	4,690	2,780	5,370	780	690	8,840	42,790
2013	32,200	5,860	2,400	4,300	1,510	1,390	13,670	61,330
2014	45,560	4,350	2,570	3,940	1,720	2,080	13,000	73,220
2015	51,050	7,210	7,900	5,250	2,460	2,660	22,830	99,360
2016	64,780	6,980	13,060	8,690	4,380	3,510	23,930	125,330
2016/2010	180.1%	56.1%	264.4%	48.5%	730.0%	403.4%	223.6%	150.2%

(出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」従業員10人以上施設)

東北の観光の現状【国際】



(出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」従業員10人以上施設)

四季折々の岩手の観光地

春

〔展勝地の桜〕



夏

〔浄土ヶ浜〕



秋

〔紅葉〕



冬

〔スキー場〕



安全安心な岩手の食



いわての地酒



わんこそば



盛岡冷麺



オリジナル水稲品種



いわて牛



うに



あわび

国内観光の誘客①

◆二つの世界遺産(平泉、橋野鉄鉱山)を核とした誘客拡大

- 平泉の世界遺産と歴史、食文化などの観光資源を組み合わせた滞在型旅行商品造成への支援
- 「橋野鉄鉱山」を核として、周辺の観光コンテンツ、三陸鉄道、宿泊施設をパッケージにした商品開発等の市町等の取組を支援
- 「橋野鉄鉱山」のAR(拡張現実)を活用した魅力の発信
- 2つの世界遺産等と「食」をテーマとしたスタンプラリー等の実施



中尊寺金色堂(平泉町)

■2011.6.29 「平泉の文化遺産」が世界文化遺産に登録



橋野鉄鉱山高炉跡(釜石市)

■2015.7.8 「橋野鉄鉱山」を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録(全国8県11市に立地する23資産で構成)

国内観光の誘客②

◆交通事業者(JR)のキャンペーンと連動した取組の展開

※ 近年の一例

- 県内の冬のイベントと連動した
宣伝強化と誘客促進
- スキー、スノーボード、温泉など、
東北の冬の魅力を訴求した宣伝効果と、
バス運行支援などによる二次交通の充実



◆作家やその作品、サブカルチャー (ゲーム、マンガ等)などの活用による

- 「ポケモンGO」等のゲームを取り入れたツアー・
イベントの開催支援
- 県北・沿岸の観光地とゲームポイントを組み合わせた
旅行商品造成の支援 (二次交通の充実)



◆官民一体となった推進体制の強化

- 市町村、宿泊事業者等の実務者によるDMO推進組織を設置
- 市町村等向けDMO設立に関するセミナー、アドバイザーによる指導

国際観光の誘客①

◆いわて国際戦略ビジョンに基づく誘客拡大

- 食材・物産の販路拡大と組み合わせた誘客拡大
- 花巻空港へのチャーター便・定期便の誘致や、クルーズ船の誘致と連動した誘客拡大
- 十和田八幡平国立公園満喫プロジェクトと連動



◆市町村・宿泊事業者等と連携したプロモーション

- 実務者による企画、営業組織を設置し、プロモーションを展開

◆宿泊・観光施設の受入態勢の充実

- Wi-Fi・トイレの洋式化・客室の和洋式化の整備支援
- 多言語コールセンター（岩手⇒東北の取組へ）
（本県独自にメール翻訳サービスを追加）

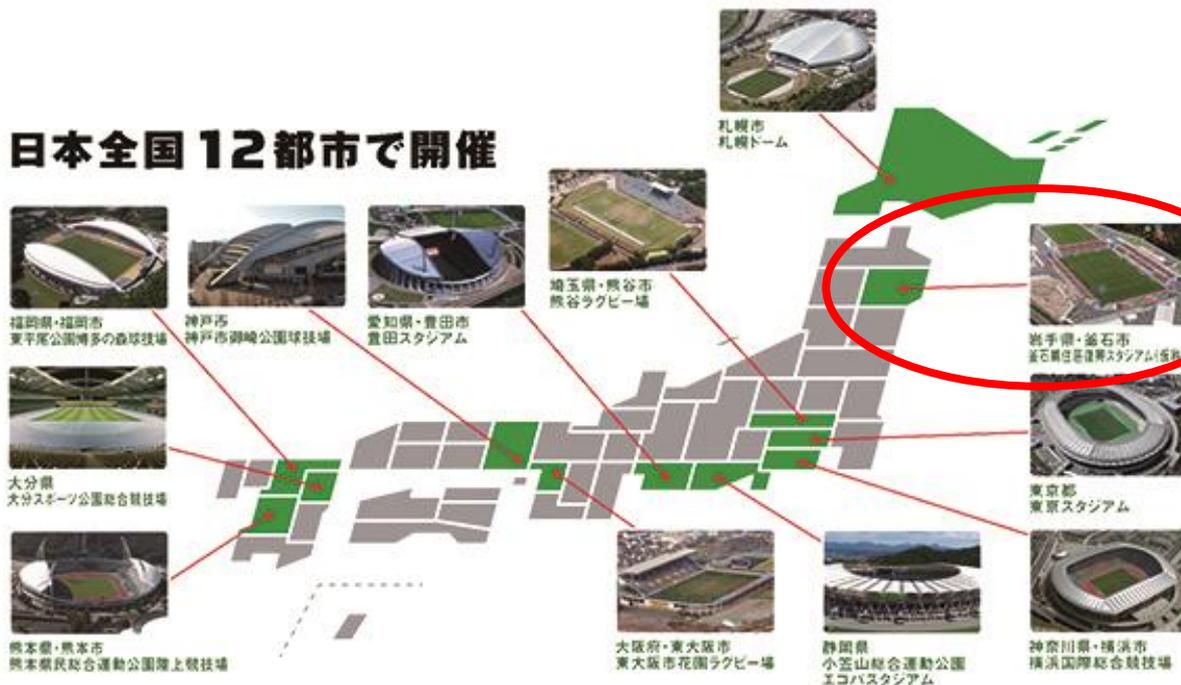


国際観光の誘客②

◆ RWC2019™、東京2020大会を見据えた沿岸地域への誘客促進

- 三陸鉄道とスポーツツーリズムを組み合わせたプロモーションの展開
- クルーズ船誘致と並行し、港を起点とした三陸周遊観光モデルコースの策定

日本全国 12都市で開催



東北が一丸となった国際観光の誘客

◆東北6県の外国人宿泊者数

2020年に**150万人**(2015年の**3倍**)

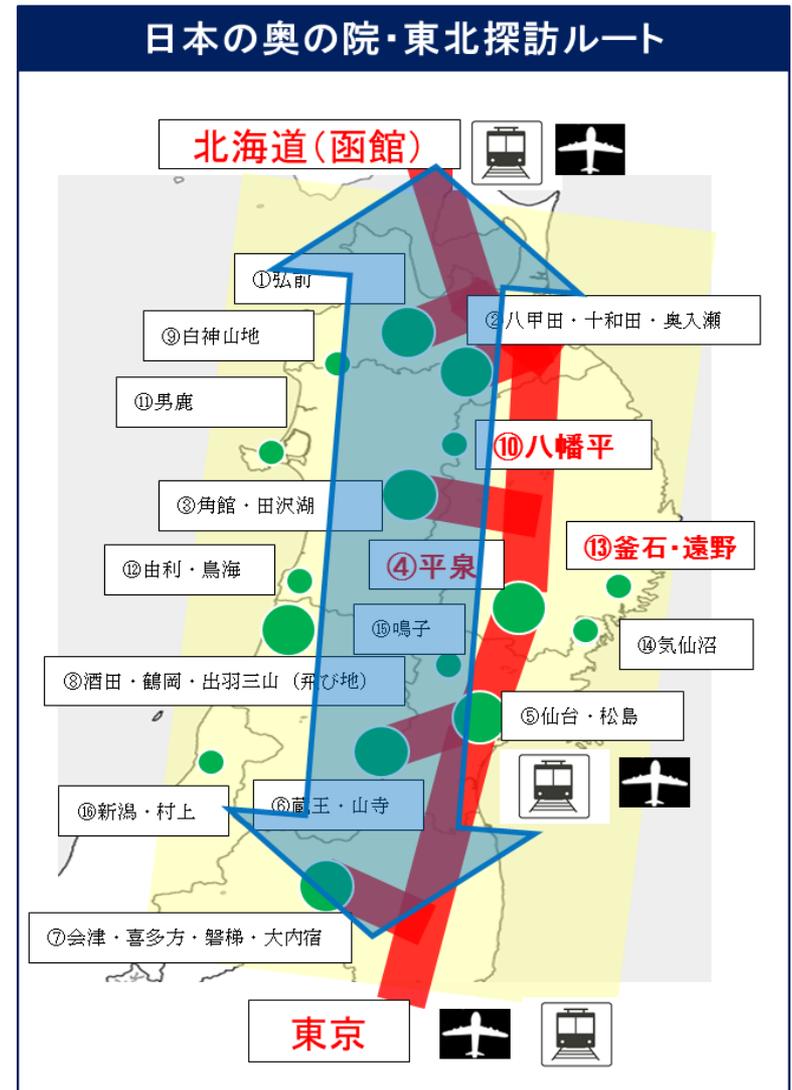
◆東北観光復興対策交付金

2016年:**40.7億円**、2017年:**32.7億円**

◆(一社)東北観光推進機構

東北6県(+新潟県)

「オール東北」の官民連携体制



色彩あざやかな四季を奏で、多くの文人を魅了してきた美しい自然と風土が育んだ歴史文化と食を探訪する旅

三陸沿岸地域への観光誘客①

◆三陸DMOセンターを中心とした「三陸旅行モデル」の構築

- 観光アドバイザーなど専門家の活用、独創性のある旅行商品造成に向けた観光人材の育成、市町村DMO立ち上げ支援
- 三陸鉄道の活用等による「三陸旅行モデル」の造成支援

◆教育旅行・企業研修旅行の誘致促進

- 誘致説明会、訪問活動、招聘旅行の実施
- 震災語り部の出前講座、他県の語り部との交流会、語り部活動のガイドライン作成



◆クルーズ船による誘客促進

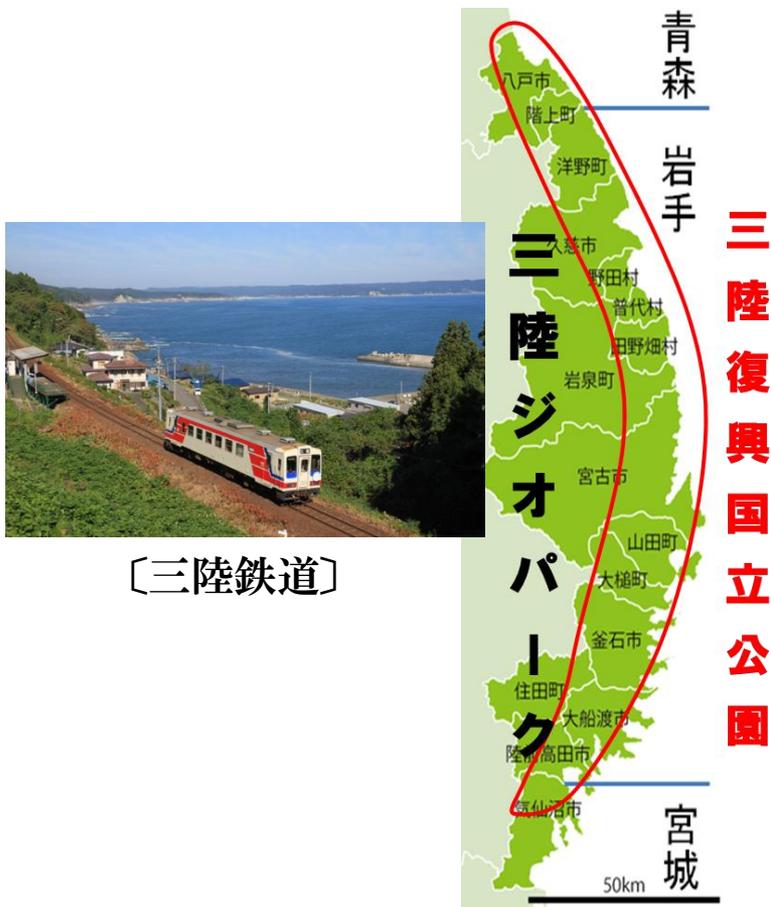
- 国や民間経済団体等と連携した寄港誘致プロモーションの展開
- 港を起点とした三陸観光周遊モデルコースの策定等



三陸沿岸地域への観光誘客②

◆「三陸ならではの」コンテンツによる誘客促進

- 三陸鉄道各駅を基点とした新たな観光周遊ルートの策定
- 三陸復興国立公園、三陸ジオパーク等、三陸を代表するコンテンツと三陸鉄道を組み合わせた観光周遊ルートを生かした首都圏等でのプロモーション展開



〔三陸鉄道〕



〔北山崎〕



〔龍泉洞〕



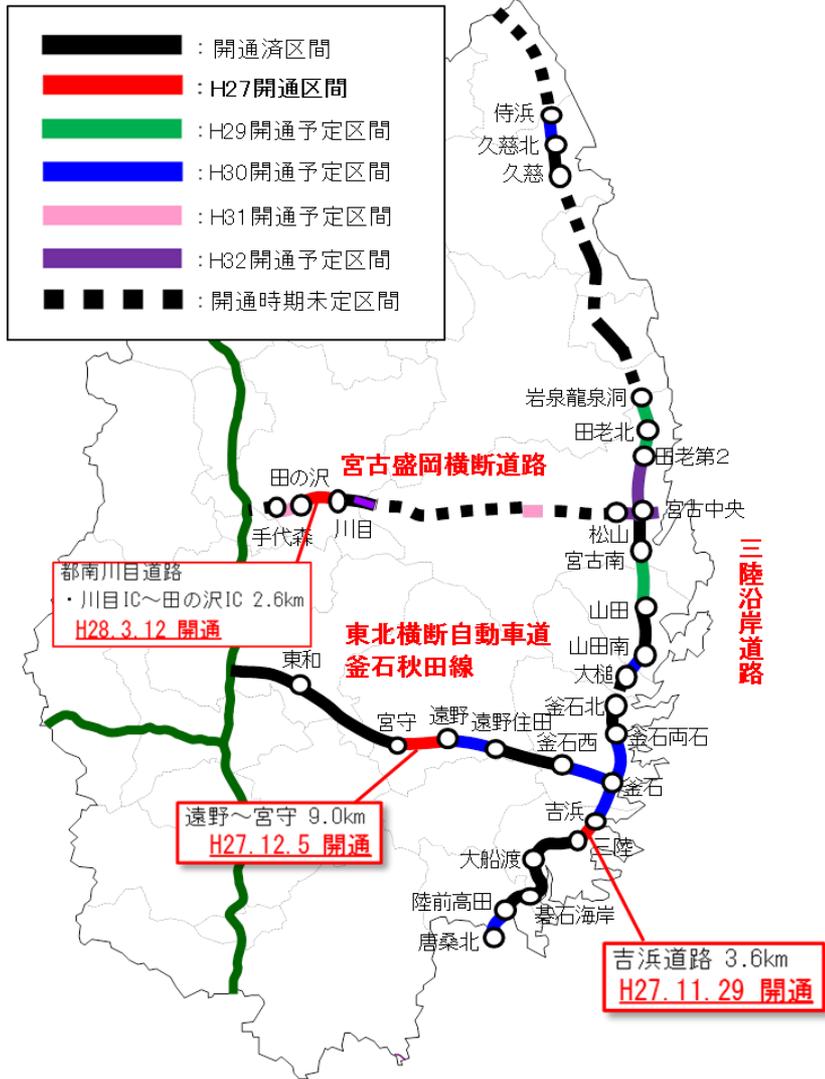
〔穴通磯〕



〔奇跡の一本松〕

交通体系の整備～復興道路の整備等～

■復興道路の整備



■フェリー航路の開設

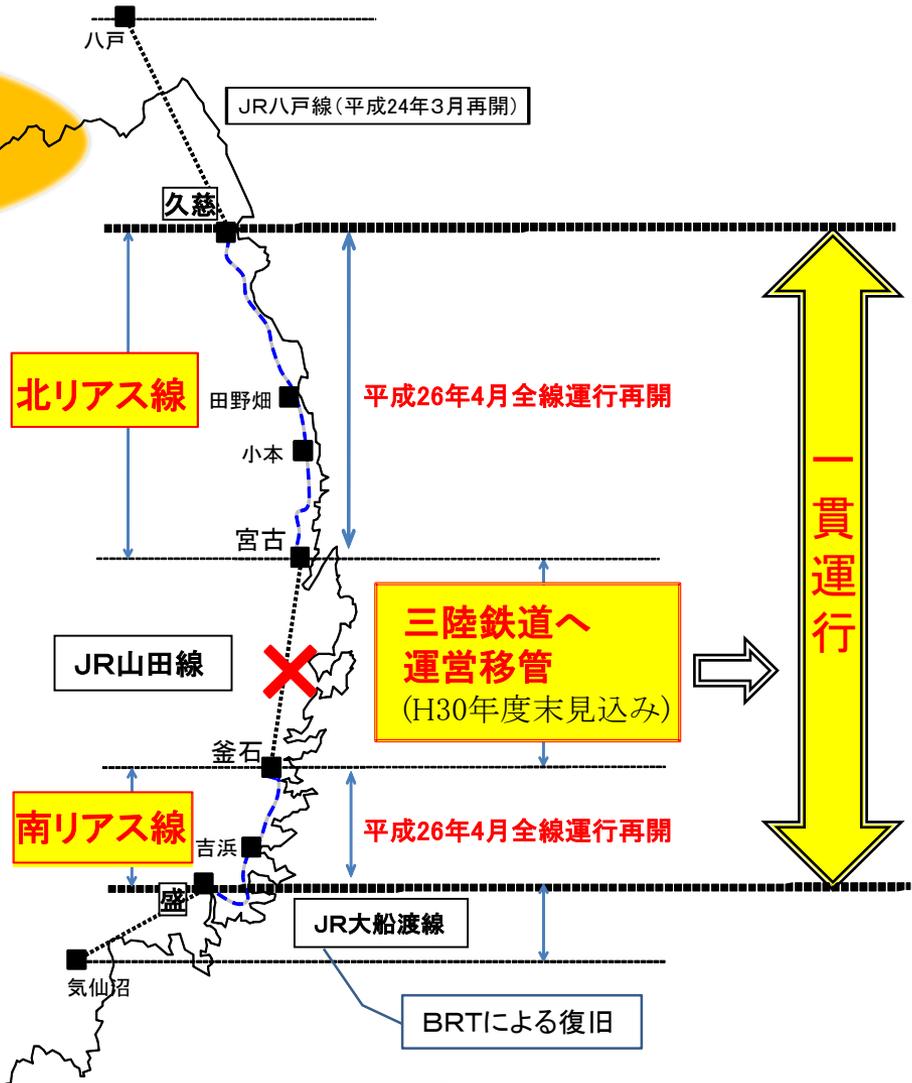


交通体系の整備～三陸鉄道による一貫運行～

平成26年4月
三陸鉄道（南北リアス線）
全線運行再開



南リアス線全線運行再開記念列車出発式
(平成26年4月)



三陸鉄道へ
運営移管
(H30年度末見込み)

観光振興の成果目標(KPI)

【2014年実績値】

【2019年目標値】

◆観光入込客数
(延べ人数)

2,886.1万人回 → 2,895.6万人回
(9.5万人回増)

◆観光宿泊者数
(延べ人数)※1

249.8万人泊 → 260.1万人泊
(10.3万人泊増)

◆外国人宿泊者数
(延べ人数)※2

7.3万人泊 → ※達成済 2016年:11.6万人泊
(1万人泊増) 8.3万人泊

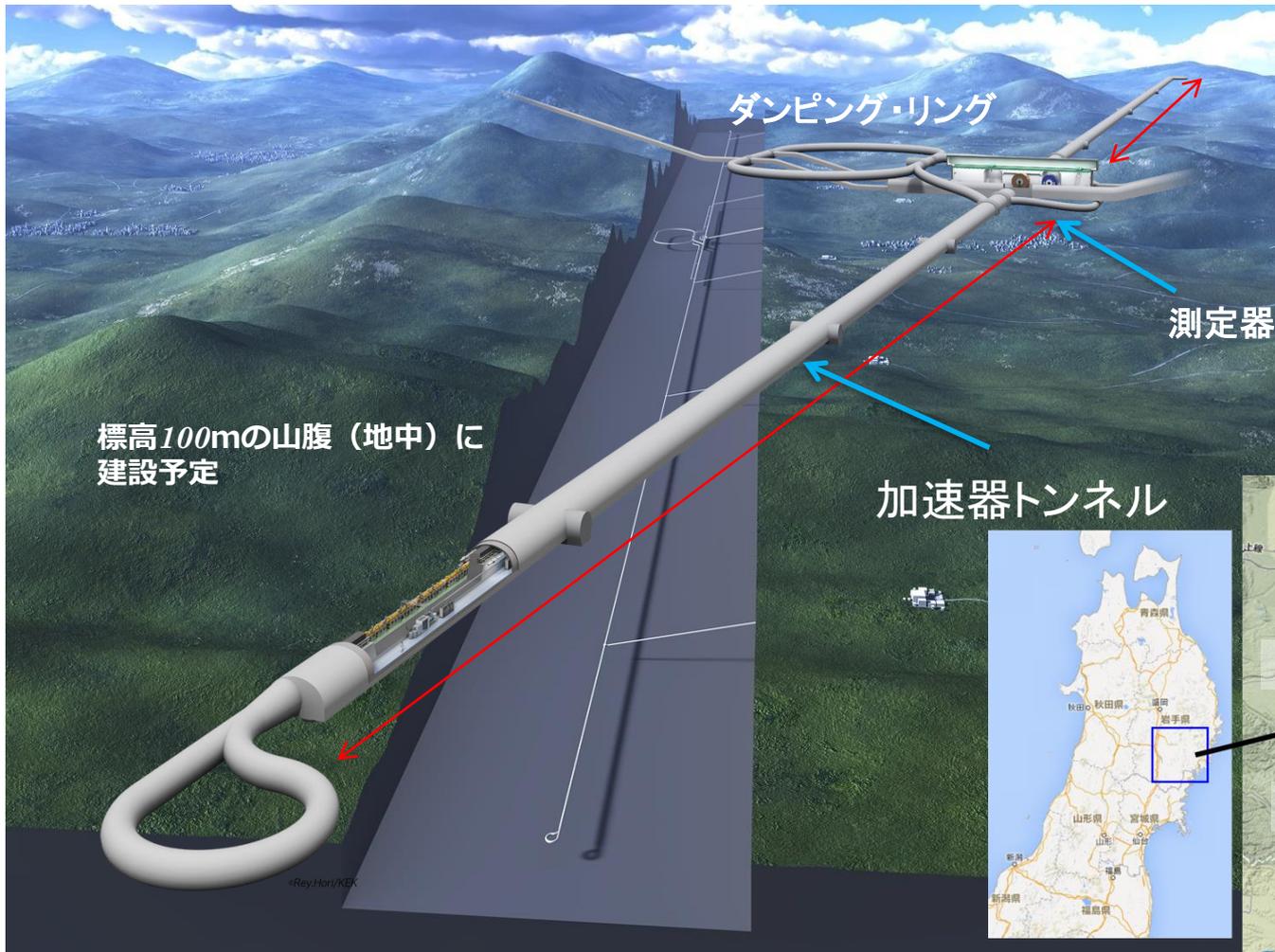
※ 2020年までに東北150万人泊を達成するには、岩手は 25.8万人泊

※1:従業員10人以上で観光目的の宿泊者の割合が50%以上の宿泊施設

※2:従業員10人以上の宿泊施設

ILC国際リニアコライダー

- 次世代の素粒子物理研究施設「ILC国際リニアコライダー」
- 国際プロジェクトとして岩手県北上山地が候補地に



(想定位置図)



おわりに

復興・地域振興の公式

「地元の底力」+「様々なつながりの力」

＝「復興の力」

＝「地域振興の力」

黄金の國、
いわて。

御清聴ありがとうございました。

